

杉本としたか県政レポート

No.7
2016年5月30日



5月19日・参議院議員会館、右端は清水忠衆衆院議員

びわ湖の保全・再生求め政府交渉

日本共産党県議団を先頭に、佐藤耕平党県国民運動部長、県内党市議が5月19日、大門みきし参院議員を窓口、びわ湖の保全・再生に関する政府交渉を行いました。

昨年秋に成立した「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」をもとにした交渉テーマは、○瀬田川洗堰の水位操作○原発事故によるびわ湖の汚染○水質汚濁・生態系の調査・研究○外来動植物による被害防止○カワウ対策○水草対策○水産資源の保存・管理○農業水利施設更新などでした。テーマごとに国土交通省・環境省・農林水産省・原子力規制庁が終日対応しました。

★外来魚対策の拡充を

杉本県議が交渉の中心となったテーマは、外来魚対策・カワウ被害防止などでした。杉本県議は、昨年度の外來魚駆除対策の国庫補助が減額されたため、漁業者による駆除事業が十分できなかったことを指摘し、補助金の増額を求めました。水産庁は「今年度は1000万円の増額をおこなった。また柔軟な対策ができるよう、補助金制度の見直しをおこなう」と回答。また杉本県議は、びわ湖再生法にもとづく独自の外

来魚対策の予算措置を求めたところ、水産庁は「検討したい」と答えました。

★カワウ被害防止の対策充実を

杉本県議は、カワウがびわ湖の水産資源に及ぼしている深刻な影響を指摘し、カワウの広域的対策と予算の拡充を求めました。とりわけ今年度の農水省所管の鳥獣被害防止総合対策交付金が大幅減額されたため、竹生島でのカワウ駆除事業が半減されたことを明らかにし、交付金の増額と再生法にもとづく独自のカワウ被害防止の予算措置を求めました。農水省は「検討する」と答えました。

★高浜原発の再稼働は認められない

原発事故とびわ湖の汚染にかかわって杉本県議は、高浜原発4基の安全審査をパスさせた原子力規制庁にたいし、①3・4号機の稼働停止を命じた仮処分決定②熊本地震で記録された1500ガルは高浜原発の基準地震動700ガルの2倍以上③4基の集中立地・運転は、事故発生時の対応困難を招くことなどを指摘し、「県民の多くは高浜原発の再稼働を望んでいない」と強く主張しました。

杉本県議が県民生活・土木交通常任委員会副委員長に

4月26日の県議会で、議会役員の大改選がおこなわれ、杉本県議は、県民生活・土木交通常任委員会（副委員長）、地方創生・行財政対策特別委員会に所属することになりました。

議長には、長浜市選出の野田藤雄議員が就任されました。



5月27日、地方創生・行財政対策特別委員会 右から2人目が杉本県議

日本共産党3県議の所属委員会

	常任委員会	特別委員会
杉本 敏隆	県民生活・土木交通	地方創生・行財政対策
節木三千代	厚生・産業	スポーツ振興
藤井三恵子	文教・警察	総合交通・防災対策

問題あり！ 県民の声聞かない 県立体育館の建設位置決定

大津市におの浜にある県立体育館の移転新築について、びわこ文化公園都市（大津市瀬田丘陵）内の滋賀医大付属病院隣接の県土地開発公社所有地とすることを県当局が決定したとしています。これに対して、県内首長からも異議が出されるなど波紋を呼んでいます。しかし、知事は、6月議会で同地での設計予算案を提出し、推進する予定です。

県議会での議論なし

立地の決定について、これまで県議会での議論はまったくされていません。日本共産党県議団は、2月定例会冒頭の知事の提案説明で突如だされたことについて、「県民不在」だとして、今年度予算案反対の理由の一つにあげていました。

県民の声を聞いて決めるのがスジだ

びわこ文化公園都市内での建設については、プロバスケットチームからも、「同地では集客が見込めず利用できない」などと

いう声もだされています。

杉本県議は、5月18日に開かれた県民生活・土木交通常任委員会で、「県民の声を聞かずに進めることに問題がある」ときびしく批判しました。

「南高北低」ますます加速

5月27日に開かれた党県議団と知事との政策協議会のなかで杉本県議は、移転予定地の理由として「人口集積地」ということを知事があげていることをとりあげ、「巨額施設はすべて大津市か草津市などに立地することになる。これでは、県土の均衡ある発展ははかれず、ますます南高北低が加速する」ときびしく指摘しました。

日本共産党県議団は、県立体育館の移転に関する補正予算には賛成しない予定です。移転地は白紙に戻し、県民の声を聞く手続きをとるべきです。

長浜市議団と土木事務所交渉

杉本県議と竹内・浅見・鬼頭長浜市議は5月25日、道路の改修などを求め、長浜土木事務所で交渉をおこないました。当局は申入れにたいし、適切に対処を約束しました。

写真右は、湖北町速水北信号交差点につながる歩道の段差。このため自転車が車道に出て通行せざるをえず危険な状況にあり、改善を求めました。



杉本県議の指摘受け 県が湖岸道路除草を年2回に改善

昨年12月県議会一般質問で杉本県議は、湖岸道路の土手除草について県と水資源機構が連携せず、右写真のような非効率な縦割り行政が行われていることを指摘し改善を求めました。土木交通部長は「水資源機構と調整を図る」と答弁していました。このことについて、土木交通部長は「水資源が年2回行う除草に併せて、県も年2回除草をおこなうようにした」と伝えてきました。除草場所の分担についても、今後も両方で調整を図っていくとしています。



戦争法廃止・立憲主義回復・安倍政権打倒！



日本共産党、民進党、社民党は、参議院滋賀選挙区の野党統一候補に林久美子さんを決定する調印式を4月24日行いました。杉本県議も立ち会いました。



5月1日に行われた第87回湖北地区メーデーに杉本県議が参加し、日本共産党を代表してあいさつ行いました。集会後、市内をデモ行進しました。